

人権教育だより『ひだまり』 第2号

令和4年7月22日発行

人権感覚の涵養 ～他者の人格を尊重し、自己肯定感の向上を図ろう～

江津高等学校・江津工業高等学校 人権教育担当

夏休みが始まる前に…時間の使い方を考えてみませんか🌻？

例年より早い梅雨明けとともに、一気に夏が来ましたね。暑い日が続きますが、気づけば1学期も終わりを迎えます。みなさんにとって、この1学期はどんな日々でしたか？どんな時間を過ごしましたか？

夏休みもそれぞれに部活動や勉強をはじめ、それ以外にもさまざまな予定があるかもしれません。普段とはちょっと違う時間の使い方になると思います。学校での時間、ひとりで過ごす時間、誰かと過ごす時間。1日が24時間、というのは変わりませんが、せっかくの夏休みなので、ちょっと特別にこんなふうに過ごしてみよう！と考えてみると、充実した夏休みになるのではないのでしょうか。まわりのひととの関わりも、何も考えずに関わるのではなく、相手のことを思いながら関わるのが大切なように、時間の過ごし方も同じことがいえるかもしれません。みなさんにとって、よい夏休みになりますように。

「朝のリレー」

谷川俊太郎



カムチャッカの若者が
きりんの夢を見ているとき
メキシコの娘は
朝もやの中でバスを待っている
ニューヨークの少女が
ほほえみながら寝がえりをうつとき
ローマの少年は
柱頭を染める朝陽にウインクする
この地球で
いつもどこかで朝が始まっている
ぼくらは朝をリレーするのだ
経度から経度へと
そうしていわば交換で地球を守る
眠る前のひととき耳をすますと
どこか遠くで目覚時計のベルが鳴ってる
それはあなたの送った朝を
誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ

人権教育だより、新たな取り組みをはじめてみます！

今年度から、人権教育だよりを江津高校と江津工業高校と一緒に発行することにしました。同じ江津市内にある高校でありながら、それぞれどのような学校生活を送っているのか、どのような学校行事があるのか、知っているようで知らないことも多いと思います。普段、学んでいることも違ったり、目指しているものも違ったりするかもしれませんが、「違うから関わらない」のではなく「違うからこそ面白い」。まずはつながることから始めてみて、「つながりを大切にすること」、これは人権教育においてとても大切なことです。

人権に関するホームルーム

6月に人権教育のホームルームを行いました。第1号の「ひだまり」でお知らせしたとおり、学年ごとのテーマで人権について考えました。

1年生「望ましいコミュニケーションのあり方について」

嬉しくなる言葉、悲しくなる言葉から、どのようなコミュニケーションが望ましいかを考えました。

～感想～

- ・言われて嬉しい言葉、悲しい言葉は、人によって意味やメッセージが異なっていて、おもしろかったです。
- ・人権のことは普段考えるものではないけど、改めて考えるとふだんにげなく使っている言葉がとても危ないことだと気づけました。

2年生「差別の歴史から学ぶ」

室町時代の東山文化にたずさわる人々の思いから、差別のはじまりがどのようなところにあるのかを考えました。

～感想～

- ・偏見だけで発言するのではなく、関わりをもち、共にやっていくことで、差別はなくなるのかなと思いました。
- ・考え方の違いはどうしても生まれてしまうものだと思う。しかし、そこで違うからと突き放すのではなく、そういう考え方もあるんだと、広い心を持つことが大切になると思う。これができたら、さらに考え方が深まり、自分の人生がゆたかになると思う。
- ・人の悪いところや嫌なところよりももっと深いところを見てその人のいいところをしっかりと見抜ける人になりたいです。
- ・人と違うところがあるから、その人が輝けるので、違うからといって差別したり、排除したりするのはよくないことだと思いました。いろんな人と話してみようと思いました。

3年生「就職差別の問題を考えることにより人権感覚を磨く」

今後、誰もが受けることになる就職試験をもとに、就職差別の実態（「就職差別につながるおそれのある14事項」の質問）とその取り組み、さらに自分たちがどのように差別に対処していくべきかを考えました。

～感想～

- ・自分は面接で何でも答えるつもりだったのですが、話してはいけない個人情報もあって初めて知ることがいっぱいでした。
- ・面接のときに自分で判断できるよう知識をつけておきたいです。
- ・実際にその場で聞かれたときに、勇気を出して「学校の指導により、お答えできません」と言えるようにしときたいと思いました。
- ・この14事項は面接だけではなく普段の生活でも気をつけて差別につながらないようにしていきたいです。

ハラスメントに対する相談窓口について

学校生活のなかで不当な扱いをされていてやだなあと感じることがあったときには校内に相談窓口を設けています。次の先生方に相談してください。

ハラスメント相談員の先生 ※（ ）内は普段在室している職員室です

- ・ ・ ・ 須藤先生（保健室）、森口先生（進路指導室）、松原先生（第1職員室）、菅原先生（第1職員室）、田村（進路指導室）